

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-115139

(43)Date of publication of application : 18.04.2003

(51)Int.Cl. G11B 15/02
G11B 31/00
H04M 11/00
H04N 5/00
H04Q 9/00

(21)Application number : 2001-305250

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 01.10.2001

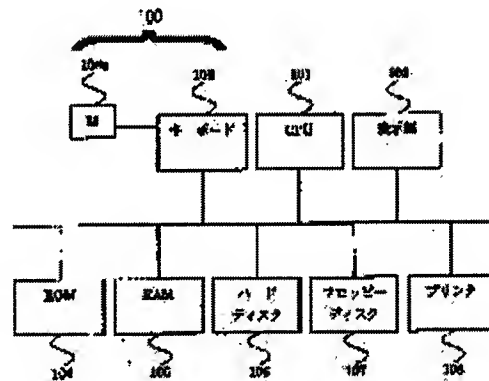
(72)Inventor : KUSAMA KIYOSHI

(54) DEVICE AND METHOD FOR OPERATING PICTURE REPRODUCING DEVICE, AND STORAGE MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a device and a method for a picture recording device that easily reserves picture recording from outside, and a storage medium.

SOLUTION: A remote controller equipped with an input device is connected to a communication terminal, a barcode or a G code is inputted, and thereby the device for operating the picture recording device is controlled.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-115139

(P2003-115139A)

(43) 公開日 平成15年4月18日 (2003.4.18)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード*(参考)
G 1 1 B 15/02	3 2 8	G 1 1 B 15/02	3 2 8 S 5 C 0 5 6
	5 4 1	31/00	5 4 1 M 5 D 1 0 2
H 0 4 M 11/00	3 0 1	H 0 4 M 11/00	3 0 1 5 K 0 4 8
H 0 4 N 5/00		H 0 4 N 5/00	A 5 K 1 0 1
H 0 4 Q 9/00	3 0 1	H 0 4 Q 9/00	3 0 1 E

審査請求 未請求 請求項の数29 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-305250(P2001-305250)

(22) 出願日 平成13年10月1日(2001.10.1)

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 草間 澄

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内

(74) 代理人 100066061

弁理士 丹羽 宏之 (外1名)

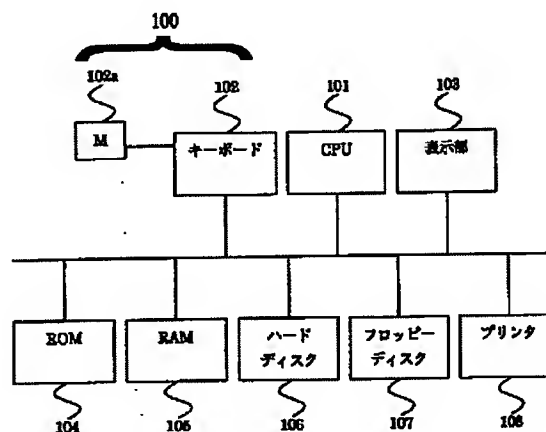
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 録画再生機器操作装置・方法及び記憶媒体

(57) 【要約】

【課題】 外出先から容易に録画予約をする録画再生機器操作装置・方法および記憶媒体の提供。

【解決手段】 通信端末に入力装置つき遠隔操作装置を接続して、バーコードやGコードを入力して、録画再生機器操作装置をコントロールする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 録画再生機器を操作する装置であって、通信端末に接続して録画再生機器を操作する遠隔操作装置と、

上記遠隔操作装置に情報を入力する情報入力装置と、遠隔地からの操作依頼によって録画再生機器を操作する装置とを備えることを特徴とする録画再生機器操作装置。

【請求項2】 上記録画再生機器操作装置は上記録画再生機器と一体であることを特徴とする請求項1に記載の録画再生機器操作装置。

【請求項3】 上記情報入力装置は上記遠隔操作装置と一体であることを特徴とする請求項1又は2に記載の録画再生機器操作装置。

【請求項4】 上記遠隔操作装置は上記の通信端末と一体であることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項5】 上記録画再生機器はビデオデッキであることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項6】 上記録画再生機器はビデオディスクデッキであることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項7】 上記録画再生機器はHDDレコーダーであることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項8】 上記録画再生機器はPCであることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項9】 上記通信端末は携帯電話であることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項10】 上記通信端末はPHS電話であることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項11】 上記通信端末は電話であることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項12】 上記通信端末はTV電話であることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項13】 上記通信端末は通信機能をもつ情報端末であることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項14】 上記遠隔操作装置は接続された通信端末の音声発声装置によって、操作の状態を知らせることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項15】 上記遠隔操作装置は接続された通信端末のディスプレイに表示する文字によって、操作の状態

を知らせることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項16】 上記遠隔操作装置は接続された通信端末のディスプレイに表示された画像によって、操作の状態を知らせることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項17】 上記遠隔操作装置の情報入力装置はラインスキャナであることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項18】 上記遠隔操作装置の情報入力装置はイメージスキャナであることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項19】 上記遠隔操作装置の情報入力装置はデジタルカメラであることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項20】 上記遠隔操作装置の情報入力装置はデジタルビデオであることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項21】 上記情報入力装置の対象となる情報はGコードであることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項22】 上記情報入力装置の対象となる情報はバーコードであることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項23】 上記情報入力装置の対象となる情報はテキストであることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項24】 上記情報入力装置の対象となる情報は画像であることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項25】 上記情報入力装置の対象となる情報は音声であることを特徴とする請求項1乃至4いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【請求項26】 上記情報端末はメール端末であることを特徴とする請求項12に記載の録画再生機器操作装置。

【請求項27】 上記情報端末はブラウザ端末であることを特徴とする請求項12に記載の録画再生機器操作装置。

【請求項28】 録画再生機器を操作する方法であって、通信端末に接続する遠隔操作により録画再生機器を操作し、前記遠隔操作で情報を入力すると共に、遠隔地からの操作依頼によって録画再生機器を操作することを特徴とする録画再生機器操作方法。

【請求項29】 請求項1乃至28いずれか記載の録画再生機器操作装置または方法に用いることができることを特徴とする記憶媒体。

【発明の詳細な説明】本発明は録画再生機器操作装置・

方法および記憶媒体に関するものである。

【0001】

【従来の技術】従来、外出先からビデオ等録画再生機器の操作を行うために、様々な方法が用いられてきた。

【0002】ビデオの留守番録画を外出先から操作する場合として、既存の電話機とビデオデッキをケーブルで接続して、電話のトーン信号等を用いてビデオを操作する方法があった。

【0003】また、最近ではTVチューナー等を搭載した録画可能なマルチメディアパソコンに対して、遠隔地 10 からノートパソコンとインターネットブラウザを使ってビデオ予約を指定する方法もある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、電話機を用いて録画予約などをする場合は操作が煩雑で、録画再生機器を簡単に操作することができないという問題があった。

【0005】また、パソコンを用いて録画予約を行う場合も、録画予約をするためにネットワークに接続できる 20 パソコンを用いなければならないという問題があった。

【0006】また、録画予約時にGコードなどのコードを用いて簡単に入力するという方法もあるが、Gコードは本来コンテンツとは関係のない番号であるため、間違えて数字を入力してしまうという問題もあった。

【0007】本発明は上記の問題点に鑑みてなされたものであり、録画再生機器に録画再生機器操作装置を接続し、さらに携帯電話などの通信端末に情報入力装置を備えた遠隔操作装置を接続することによって、容易に録画再生装置を操作することができる録画再生機器操作装置・方法および記憶媒体を提供することを目的とする。 30

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記の課題を解決するために、以下の構成を備えるものである。

【0009】(1) 録画再生機器を操作する装置であって、通信端末に接続して録画再生機器を操作する遠隔操作装置と、上記遠隔操作装置に情報を入力する情報入力装置と、遠隔地からの操作依頼によって録画再生機器を操作する装置とを備えることを特徴とする録画再生機器操作装置。

【0010】(2) 上記録画再生機器操作装置は上記録画再生機器と一体であることを特徴とする上記(1)に記載の録画再生機器操作装置。 40

【0011】(3) 上記情報入力装置は上記遠隔操作装置と一体であることを特徴とする上記(1)又は(2)に記載の録画再生機器操作装置。

【0012】(4) 上記遠隔操作装置は上記の通信端末と一体であることを特徴とする上記(1)乃至(3)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0013】(5) 上記録画再生機器はビデオデッキであることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記 50

載の録画再生機器操作装置。

【0014】(6) 上記録画再生機器はビデオディスクデッキであることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0015】(7) 上記録画再生機器はHDDレコーダーであることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0016】(8) 上記録画再生機器はPCであることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器装置(9) 上記通信端末は携帯電話であることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0017】(10) 上記通信端末はPHS電話であることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0018】(11) 上記通信端末は電話であることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0019】(12) 上記通信端末はTV電話であることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0020】(13) 上記通信端末は通信機能をもつ情報端末であることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0021】(14) 上記遠隔操作装置は接続された通信端末の音声発声装置によって、操作の状態を知らせることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0022】(15) 上記遠隔操作装置は接続された通信端末のディスプレイに表示する文字によって、操作の状態を知らせることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0023】(16) 上記遠隔操作装置は接続された通信端末のディスプレイに表示された画像によって、操作の状態を知らせることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0024】(17) 上記遠隔操作装置の情報入力装置はラインスキャナであることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0025】(18) 上記遠隔操作装置の情報入力装置はイメージスキャナであることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0026】(19) 上記遠隔操作装置の情報入力装置はデジタルカメラであることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0027】(20) 上記遠隔操作装置の情報入力装置はデジタルビデオであることを特徴とする上記(1)乃至(4)いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0028】(21) 上記情報入力装置の対象となる情報はGコードであることを特徴とする上記(1)乃至

(4) いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0029】(22) 上記情報入力装置の対象となる情報はバーコードであることを特徴とする上記(1)乃至

(4) いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0030】(23) 上記情報入力装置の対象となる情報はテキストであることを特徴とする上記(1)乃至

(4) いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0031】(24) 上記情報入力装置の対象となる情報は画像であることを特徴とする上記(1)乃至(4) いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0032】(25) 上記情報入力装置の対象となる情報は音声であることを特徴とする上記(1)乃至(4) いずれか記載の録画再生機器操作装置。

【0033】(26) 上記情報端末はメール端末であることを特徴とする上記(12)に記載の録画再生機器操作装置。

【0034】(27) 上記情報端末はブラウザ端末であることを特徴とする上記(12)に記載の録画再生機器操作装置。

【0035】(28) 録画再生機器を操作する方法であって、通信端末に接続する遠隔操作により録画再生機器を操作し、前記遠隔操作で情報を入力すると共に、遠隔地からの操作依頼によって録画再生機器を操作することを特徴とする録画再生機器操作方法。

【0036】(29) 上記(1)乃至(28) いずれか記載の録画再生機器操作装置または方法に用いることができることを特徴とする記憶媒体。

【0037】

【発明の実施の形態】以下に本発明の好適な実施の形態を、実施例に基いて図面を参照しながら説明する。

【0038】

【第一の実施例】図1は第一の実施形態の構成を示すブロック図である。図1において、入力部100は文字・音声・画像等のデータを入力する部分であり、キーボード102、マウス102a、マイク、カメラ等を用いることが多い。出力部は文字・音声・画像等のデータを出力する部分であり、スピーカー、プリンタ108、液晶、CRT等の表示部103を用いることが多い。蓄積部は動画データや音声データを蓄積するものであり、ハードディスク106やフロッピー(R)ディスク107等を用いるのが一般的である。I/F部はビデオデッキや電話機などの外部機器を接続する部分であり、USBやIEEE1394等の有線用のコネクタや赤外線や電波等の無線用のコネクタを備える。CPU101は上記の処理や制御のすべてに関わり、ROM104とRAM105はその処理に必要なメモリや作業領域を提供する。また、図4のフローチャートを参照して後述する本実施形態の処理手順を実現するための制御プログラムもROM104に格納されている。

【0039】なお、第一の実施形態の録画再生機器操作

装置には上記以外にも、種々の構成要素が設けられているが、本発明の主眼ではないので、その説明については省略する。

【0040】次に上記のように構成された録画再生機器操作装置に接続する機器の構成を図2に示す。

【0041】録画再生機器操作装置200はモジュラーケーブルを用いて電話線201と接続する。また、録画再生機器装置を容易に遠隔操作する遠隔操作装置203を携帯電話などと接続する。遠隔操作装置203を携帯電話と接続することにより、録画再生機器操作装置200は携帯電話での操作が可能となる。また、録画再生機器操作装置200のマイクやスピーカーやハードディスクの機能を用いて録画再生機器操作装置200を通常の留守番電話として用いることも可能である。さらに、録画再生機器操作装置200をIEEE1394ケーブルなどを用いてビデオデッキなどの録画再生機器202とも接続することにより、録画再生機器操作装置200から録画再生機器202の操作をしたり、再生した画像を録画再生機器操作装置200に取り込むことが可能になる。録画再生機器202と録画再生機器操作装置200との接続はケーブル接続でも良いし、赤外線や無線などを用いたワイヤレス接続でも構わない。

【0042】つぎに、携帯電話に接続する入力機能付きの遠隔操作装置203について、図3の遠隔操作装置203の拡大図を用いて説明する。

【0043】図3は入力機能付きの遠隔操作装置203の拡大図である。

【0044】ここで、301は文字や画像を読み取るイメージセンサであり、イメージセンサ301で文字をなぞることにより文字画像を入力することができる。302はスキャンボタンであり、このボタンを押しながらユーザは文字画像を入力する。303はディスプレイであり、入力した文字画像を遠隔操作装置203の内部でOCR(文字情報認識)を行い、認識した文字情報が表示される。

【0045】304は“YES”ボタン、305は“NO”ボタンであり、遠隔操作装置203の細かい操作のために使われる。306は通信端末と接続するためのケーブルであり、本実施例では携帯電話と接続する。

【0046】つぎに、入力機能付き遠隔操作装置203を用いて外出先からビデオデッキの録画予約をする方法を説明する。

【0047】図4は外出先から入力機能付き遠隔操作装置203を用いて、Gコードを入力するフローチャートである。

【0048】図4のステップS401においてユーザはまず入力機能付き遠隔操作装置203を携帯電話に接続する。

【0049】次にステップS402において、「G」ボタンを押しながらGコードをスキャンしてください

い。」と遠隔操作装置 203 のディスプレイ 303 に表示される。

【0050】ステップ S 403 において、遠隔操作装置 203 のスキャナ部分を読み取りたい G コードの先頭に置く。

【0051】次にステップ S 404 において、“G” ボタンを押しながらスキャンを開始する。

【0052】ステップ S 405 において、押していた“G” ボタンを離すとスキャンが終了する。

【0053】ここで、スキャンの対象となるのが、G コードの印刷されているテレビ欄などであり、実際には図 5 のようなかたちでスキャンする。

【0054】次にステップ S 406 において、スキャンされた数字と録画内容が遠隔操作装置 203 のディスプレイ 303 に表示される。すなわち、図 5 の例であらわすと G コードの数字「54378」が表示された後に、G コードの内容「水曜日 19:00 から 20:00 8 チャンネル」がディスプレイ 303 に表示される。ステップ S 407 において、ディスプレイに表示された情報で良い場合には、“Yes” ボタン 304 を押し、悪い場合には“No” ボタン 305 を押す。“NO” ボタン 305 が押された場合には、ステップ S 402 に戻る。“Yes” である場合にはステップ S 408 に進む。

【0055】ステップ S 408 において、入力された G コードの情報が、携帯電話からあらかじめ登録された録画再生機器操作装置 200 に送信され、録画予約の処理を終了する。

【0056】では、次に録画予約要求時の録画再生機器操作装置 200 の動作を図 6 のフローチャートを用いて説明する。

【0057】図 2 に示したように、録画再生機器操作装置 200 は電話線 201 と録画再生機器 202 と接続されている。

【0058】図 6 のステップ S 601 において、録画再生機器操作装置 200 に遠隔操作装置 203 から電話がかかってくる。次に、ステップ S 602 において、録画再生機器操作装置 200 が受信を許可し、ステップ S 603 において遠隔操作装置 203 から送られてくる G コードを受信する。ステップ S 604 において、遠隔操作装置 203 との通信を切断する。ステップ S 605 において、受信した G コードを録画再生機器 202 に送信して、録画予約が完了したか確認する。完了したならステップ S 606 に進み、完了できなかったらステップ S 607 に進む。ステップ S 606 においては、あらかじめ指定された携帯電話に「水曜日 19:00 から 21:00 8 チャンネルの録画予約が完了しました。」といったメッセージを送信する。ステップ S 607 においては「録画予約は失敗しました。」といったメッセージを送信する。

【0059】以上で、録画予約要求時の録画再生機器操

作装置 200 の動作を終了する。

【0060】以上の操作によって、遠隔操作装置 203 を用いて簡単に、間違えることが少なく録画予約をすることができる。ここで、実際の通話時間は最後のステップのときだけであり、送るコマンドも G コードのみであるので、非常に短時間にすみ、通話料も低くおさえることができる。

【0061】また、G コードの入力に関しても通常の紙や新聞で良いので、携帯電話と遠隔操作装置 203 と G コード付きの番組表さえあればどこでも簡単に録画予約を行うことができる。

【0062】また、本実施例においては、G コードを用いて録画予約の操作を行っているが、曜日や時間を入力したのちに、その情報をそのまま送信することも当然可能である。

【0063】また、本実施例ではイメージスキャナで G コードをスキャンして、G コードを文字認識したが、デジタルカメラやデジタルビデオで撮影した画像から G コードや曜日、時間を文字認識してもかまわない。

【0064】また、録画再生機器操作装置 200 が操作する録画再生機器 202 はビデオテープデッキのみでなく、HDD レコーダー、DVD レコーダー等でも当然かまわない。

【0065】また、録画再生機器操作装置 200 と録画再生機器 202 が一体であってもかまわない。

【0066】また、本実施例では情報入力装置であるスキャナと遠隔操作装置 203 が一体であったが、これらは別々でもかまわないし、情報入力装置、遠隔操作装置 203、通信端末がすべて一体であってもかまわない。

【0067】

【第二の実施例】第二の実施例では、第一の実施例で録画予約された情報の確認を行う方法を、図 7 のフローチャートを用いて説明する。

【0068】図 7 のステップ S 701 において、録画再生機器操作装置 200 に携帯電話から電話がかかってくる。次に、ステップ S 702 において、録画再生機器操作装置 200 が受信を許可し、ステップ S 703 において、携帯電話から送られてくるメッセージを受信する。ステップ S 704 において、携帯電話との通信を切断する。ステップ S 705 において、受信したメッセージが“ヨヤクカクニン”であったら、ステップ S 706 に進み、指定された携帯電話に「1. 水曜日 19:00 から 21:00 8 チャンネル、2. …」というメッセージを送信し、予約が無かった場合には「予約はありませんでした」というメッセージを送信する。

【0069】受信したメッセージが“ヨヤクカクニン”でなかった場合には、ステップ S 707 にすすみ、「送信されたメッセージが違います」というメッセージを、指定された携帯電話に送信する。

【0070】以上のようにして、外出先から現在どのよ

うな予約がなされているかという情報を簡単にとりだすことが可能になり、なおかつその情報は瞬時に送信されてくるので通話料も少なくて、確認することができる。

【0071】本実施例では予約の確認をメッセージで示したが、このメッセージは文字情報や音声情報、画像情報で送受信してもかまわない。

【0072】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、録画再生機器操作装置と情報入力装置を備えた遠隔操作装置を用いることによって、容易に録画再生機器の操作を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 第一の実施例におけるメタデータ登録装置の構成を示すブロック図

【図2】 第一の実施例における録画再生機器と録画再生機器操作装置の接続した形態と、遠隔操作装置と携帯電話の接続した形態を示す図

【図3】 本発明の実施形態における遠隔操作装置の拡大図

【図4】 第一の実施例における入力機能つき遠隔操作装置を用いて録画予約をする方法を示すフローチャート

【図5】 第一の実施例における入力機能つき遠隔操作装置を用いて、Gコードを入力する動作を示す図

【図6】 第一の実施例における録画再生機器操作装置*

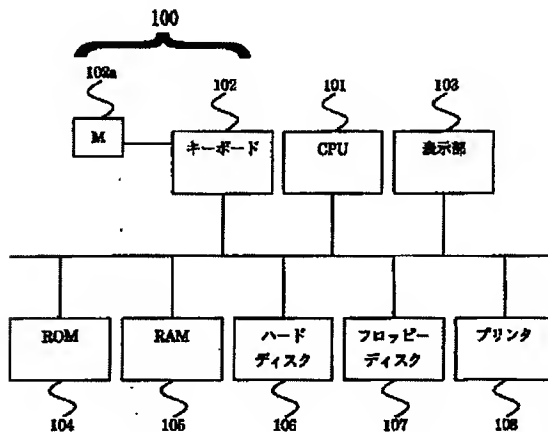
*で録画予約をする方法を示すフローチャート

【図7】 第二の実施例における録画再生機器操作装置で予約確認をする方法を示すフローチャートである。

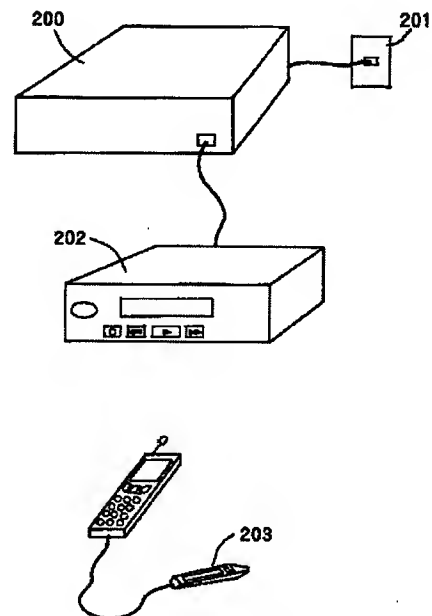
【符号の説明】

- 100 入力部
- 101 CPU
- 102 キーボード
- 103 表示部
- 104 ROM
- 105 RAM
- 106 ハードディスク
- 107 フロッピー (R) ディスク
- 108 プリンタ
- 200 録画再生機器操作装置
- 201 電話線
- 202 録画再生機器
- 203 遠隔操作装置
- 301 イメージセンサ
- 302 スキャンボタン
- 303 ディスプレイ
- 304 “YES” ボタン
- 305 “NO” ボタン
- 306 ケーブル

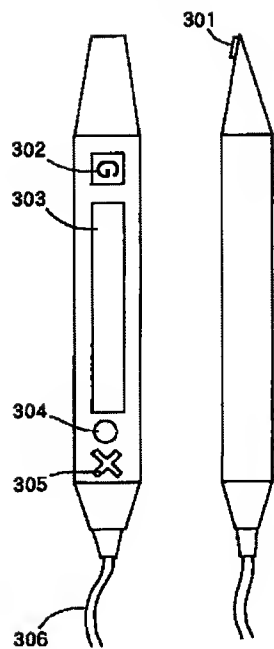
【図1】



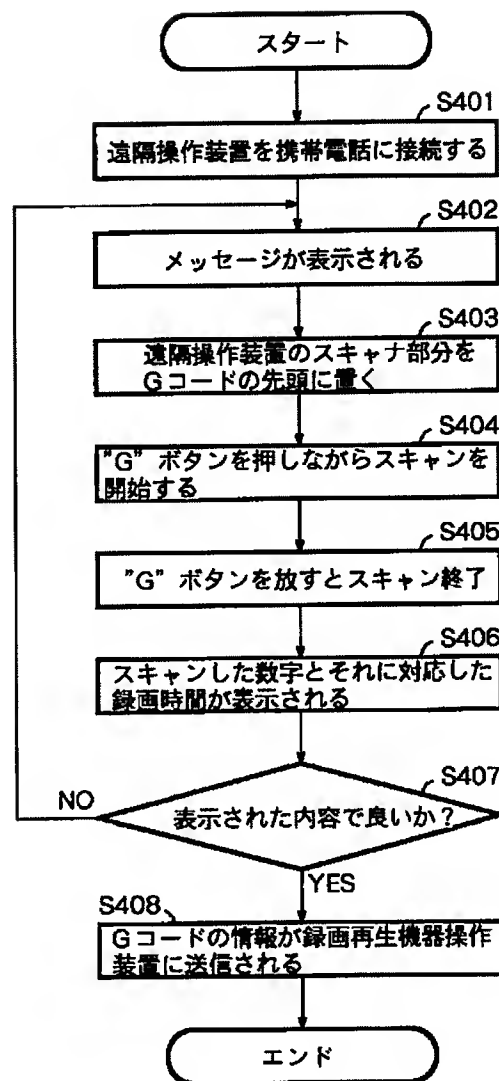
【図2】



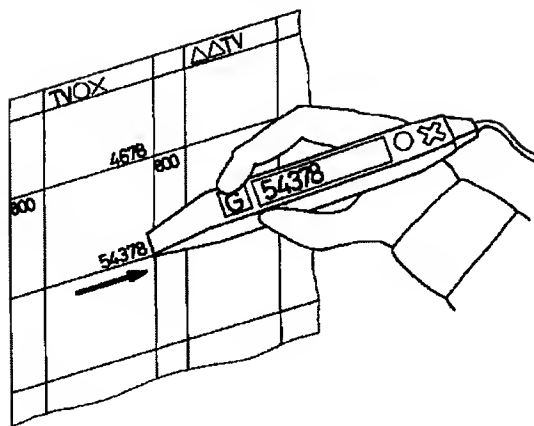
【図3】



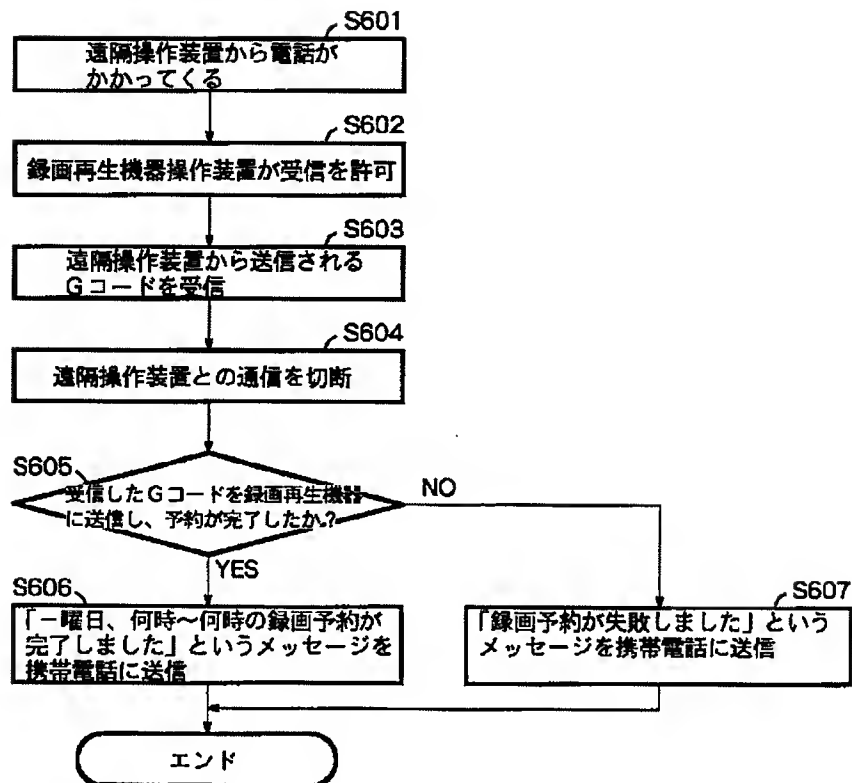
【図4】



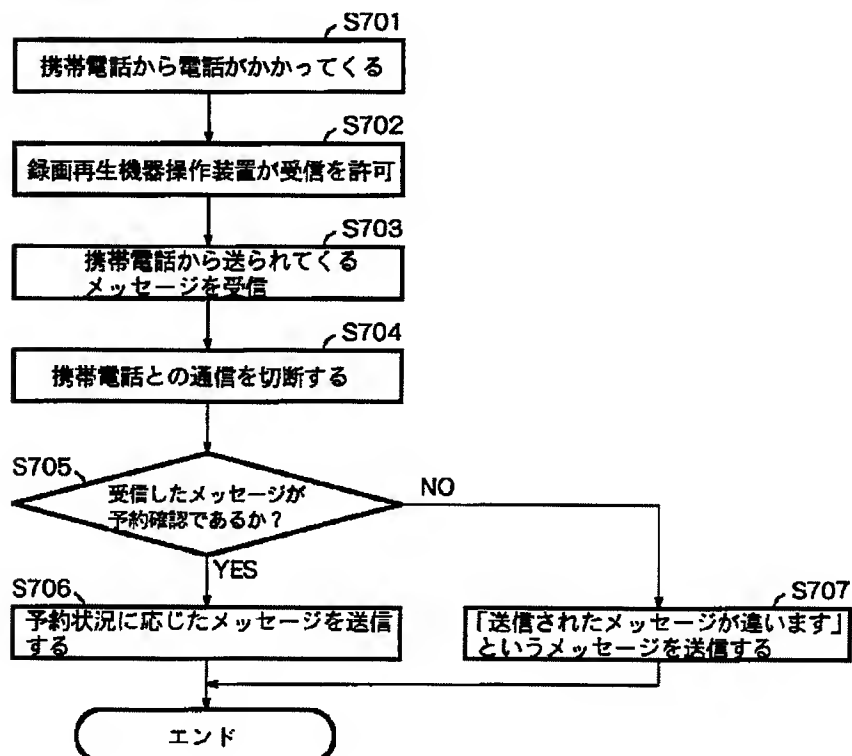
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコード (参考)
H 0 4 Q 9/00	3 1 1	H 0 4 Q 9/00	3 1 1 Q
	3 2 1		3 2 1 Z
	3 3 1		3 3 1 A

F タ-ム (参考) 5C056 BA08 BA10 CA20 EA01 EA06
 5D102 AC01 GA02 GA08 GA39 GA44
 5K048 AA04 BA02 BA13 DC07 EB02
 HA04
 5K101 KK02 KK11 LL01 LL12 NN02
 NN04 NN06 NN08 NN18